

河川、ダム、砂防設備、海岸保全施設に係る ゴールデンウィーク前の安全利用点検結果について

～点検総数36区域のうち、危険性が確認された12区域で処置を実施～

金沢河川国道事務所では安全・安心な河川・海岸等の整備に努めておりますが、ゴールデンウィークを目前に控え、これから水辺を利用される機会が増えていくと予想されることから、管内の河川、ダム、砂防設備、海岸保全施設について、大勢の人が集まる場所を中心に安全利用点検を実施しました。

点検の結果、全点検箇所36区域に対し12区域において、

- ・転落のおそれがある箇所の立入禁止措置が十分でない。
- ・利用に際して、手摺りのぐらつきがある。

などの危険性が確認されましたので、立入禁止看板の設置、不具合箇所の修繕等を行いましたので、安心して施設をご利用頂けます。

点検対象となる場所は、川へのアクセス路、散策路、親水護岸及びその周辺や、魚釣りなど水辺の利用が日常的に見られる箇所を中心としております。

詳細の点検結果については、別紙のとおりです。

また、このような点検を夏休み前にも行う予定です。



手取川の安全利用点検の様子



梯川の安全利用点検の様子

【問い合わせ先】

国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所

【河川】 河川管理課長 本野恒夫 tel：076-264-9916（直通）

【ダム】 手取川ダム管理支所長 橋向俊昭 tel：076-256-7310（直通）

【砂防】 工務第一課長 万行 康文 tel：076-264-8547（直通）

【海岸】 海岸課長 西川 一 tel：076-264-9915（直通）

河川、ダム、砂防設備、海岸保全施設に係る安全利用点検を実施

～ゴールデンウィークを前に手取川・梯川の河川管理施設のほか、手取川ダム、白山砂防の設備、石川海岸（直轄工事区域）の海岸保全施設で安全利用点検を実施しました～

1. 目 的

手取川・梯川は、レクリエーション活動の場として多くの人々に利用されています。

手取川には川北町の「水辺の楽校」や能美市の「水辺プラザ」などの河川利用に配慮した施設があります。

金沢河川国道事務所は、一般の利用者の増加や利用を前提とした施設があることを踏まえ、利用者の自己責任による安全確保と併せて、利用者に安心して利用していただく観点から、安全利用点検を実施しました。

安全利用点検は、大勢の人々が集まりやすい場所を中心に、河川管理者である金沢河川国道事務所、公園などの施設管理者、沿川の市町の学校のPTAの方々等にも参加いただき共同で実施しました。

2. 点検対象

〔河川〕

- ・親水護岸など人と川のふれあいの場を創出することを目的として設置された区域
- ・排水機場、樋管、根固め等の河川管理施設で、散策や魚釣りなどの利用が日常的に、それらの施設周辺で見られる区域
- ・河川の河口部等の潮位等変動の影響を受ける護岸等で、日常的にそれらの施設周辺で、散策や魚釣りなどの利用が見られる区域

〔ダム〕

- ・ダム放流などにより日常的に水位変動等の影響がある区域等

〔砂防設備〕

- ・水辺に親しむ利用が日常的に見られる区域

〔海岸〕

- ・人工海浜にある海岸保全施設と砂浜
- ・現に海水浴場として、日常的に利用されている海岸にある海岸保全施設及びその周辺

※ 人の接近が見られない箇所は点検対象外としました。

3. 点検場所は別紙のとおりです。

4. 点検項目

人がはまりこむ危険性がある陥没等の施設の変状、水際部や水面の点検を実施しました。

5. 点検方法

目視だけではなく、測量ポール等を使用した点検

6. 点検結果

河川、ダム、砂防設備、海岸保全区域についての点検結果は別紙のとおりです。

7. 点検後の措置

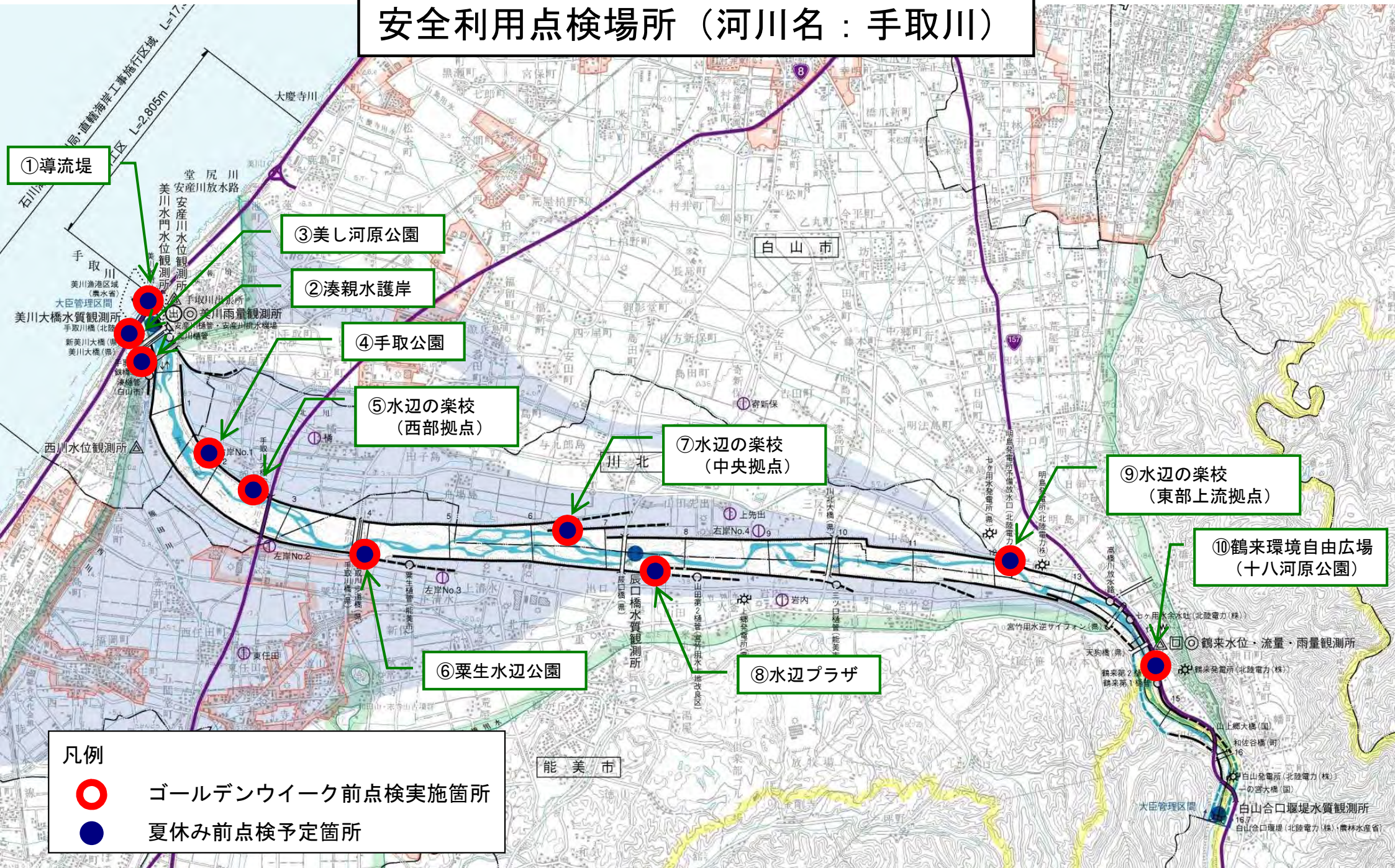
記者発表やホームページ上で公表し、一般周知に努める他、危険箇所は、当面の危険を回避する措置として、ロープやバリケード等により立ち入り規制、注意看板を設置するなど危険周知を行います。また、抜本的対策も並行して進めます。

※ 安全確保は自らの責任で

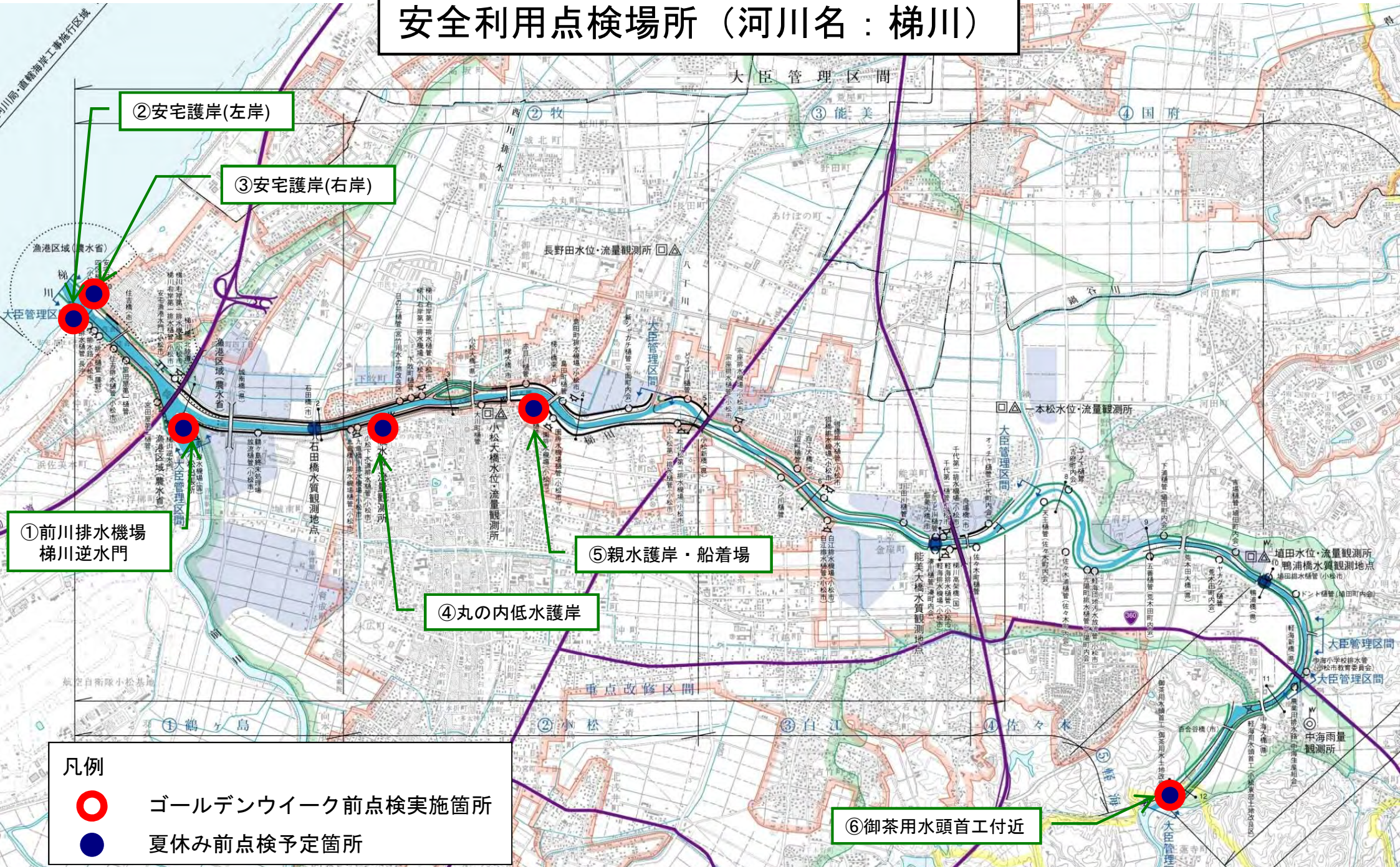
金沢河川国道事務所では、随時、安全点検を実施してまいります。点検後の風雨や洪水等により、日々現地の状況は変わります。

河川管理者として、安全利用点検の情報、河川に係る雨量、水位等の情報を発信していきますが、河川等の利用にあたっては、利用者自らが、その安全を確認のうえ、ご利用頂きますようお願いいたします。

安全利用点検場所（河川名：手取川）



安全利用点検場所（河川名：梯川）



②安宅護岸(左岸)

③安宅護岸(右岸)

①前川排水機場
梯川逆水門

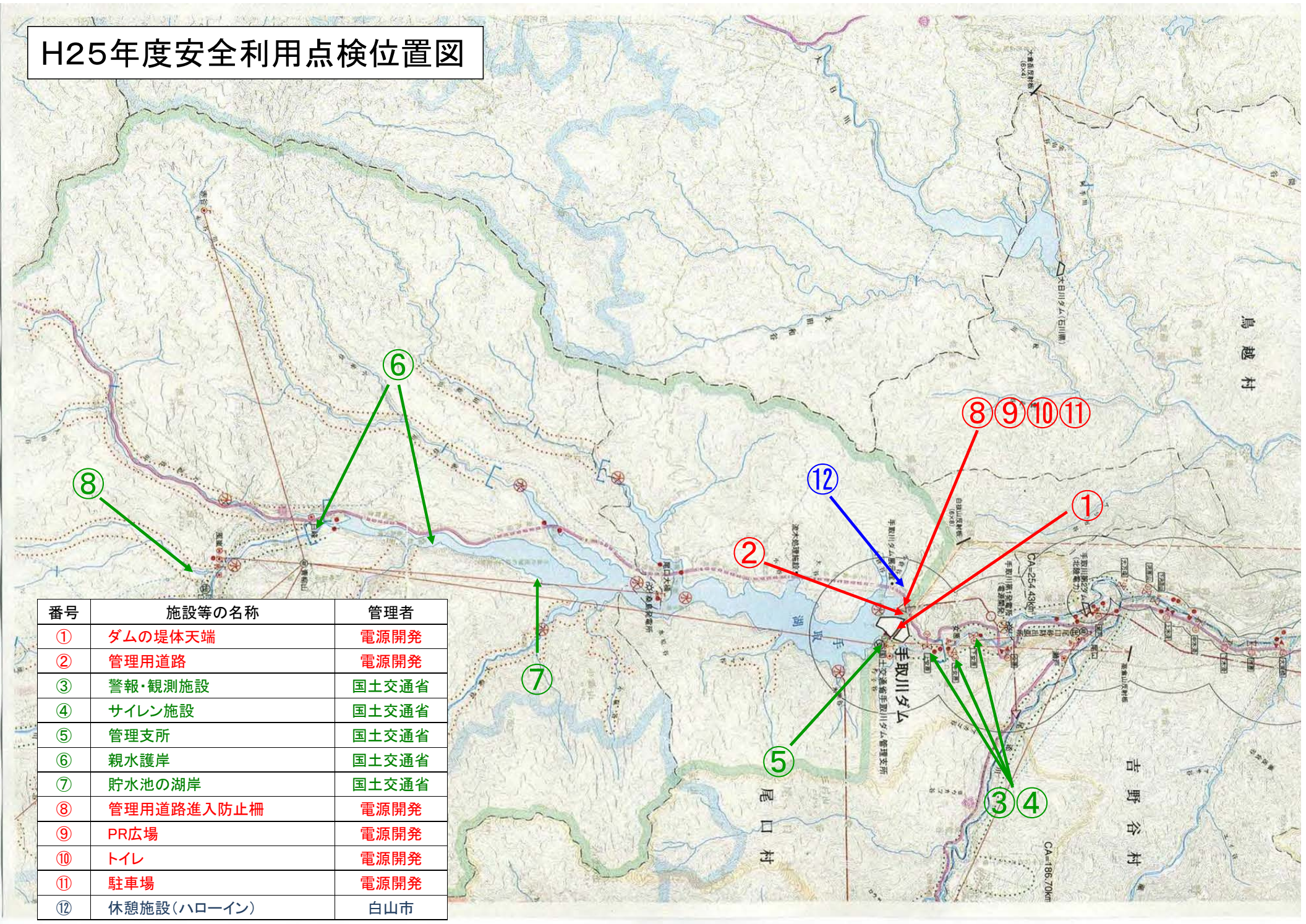
④丸の内低水護岸

⑤親水護岸・船着場

⑥御茶用水頭首工付近

- 凡例
- ゴールデンウィーク前点検実施箇所
 - 夏休み前点検予定箇所

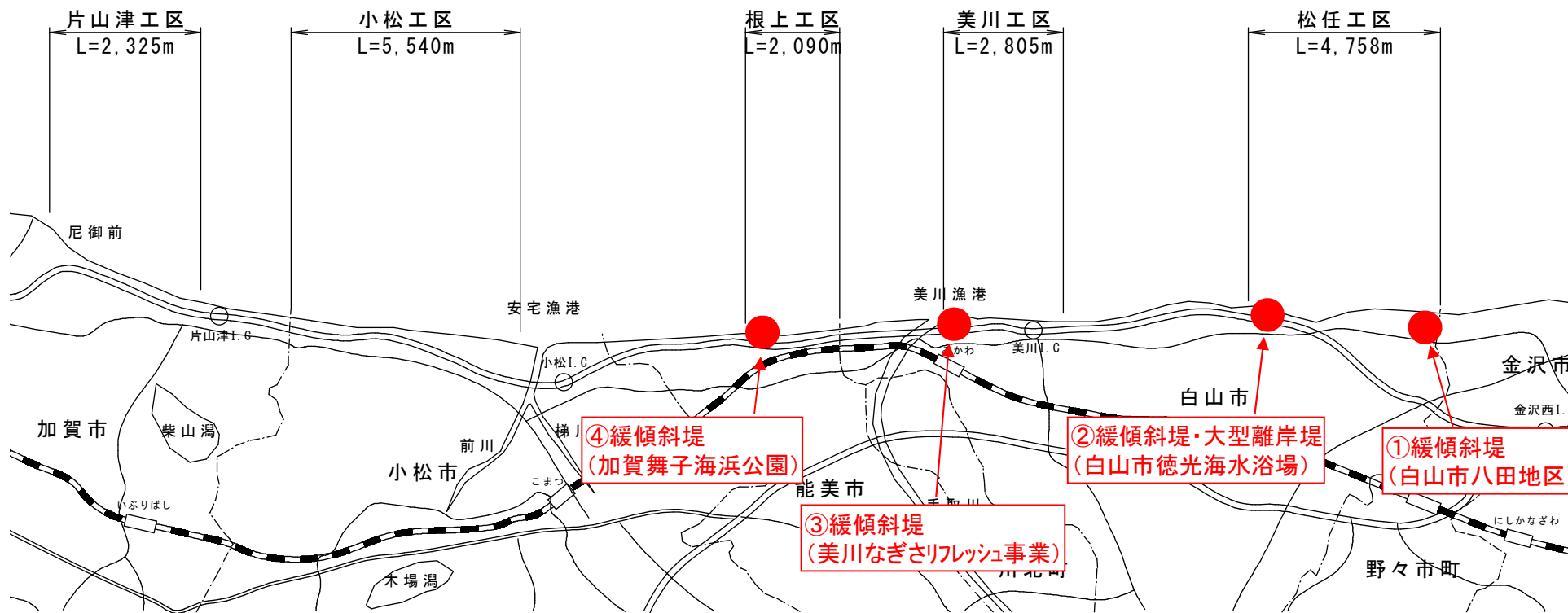
H25年度安全利用点検位置図



番号	施設等の名称	管理者
①	ダムの堤体天端	電源開発
②	管理用道路	電源開発
③	警報・観測施設	国土交通省
④	サイレン施設	国土交通省
⑤	管理支所	国土交通省
⑥	親水護岸	国土交通省
⑦	貯水池の湖岸	国土交通省
⑧	管理用道路進入防止柵	電源開発
⑨	PR広場	電源開発
⑩	トイレ	電源開発
⑪	駐車場	電源開発
⑫	休憩施設(ハローイン)	白山市

石川海岸 平成25年度安全利用点検 参考図

石川海岸（直轄海岸工事施行区域） L=17,518m



安全利用点検結果

施設名		点検数	応急措置区域数	応急措置区域箇所	点検結果	実施する措置
河川	手取川	10	1	⑤	河岸の階段護岸脇に「きけんちゅうい」の看板が設置されているが、看板周辺の除草が必要。	看板周辺の除草を完了
	梯川	6	3	②	河口部の直立護岸から水域への転落防止柵を単管パイプを用いて仮設的に設置してあるが、潮風の影響等もあり錆も目立つことから除去を行い新設が必要。現状は転落の危険性がある状態ではない。	使用材料、設置位置などを詳細検討のうえ恒久的な転落防止柵を夏休み前までに設置する。
				③	河口部の直立護岸から水域への転落防止柵を単管パイプを用いて仮設的に設置してあるが、潮風の影響等もあり錆も目立つことから除去を行い新設が必要。現状は転落の危険性がある状態ではない。	使用材料、設置位置などを詳細検討のうえ恒久的な転落防止柵を夏休み前までに設置する。
				⑤	島川排水樋管の吐口に角柱に平材を用いた木製の転落防止柵が設置されているが、風雨などにより一部に朽ちている箇所が見られることから除去を行い新設が必要。現状は転落の危険性がある状態ではない。	使用材料、設置位置などを詳細検討のうえ恒久的な転落防止柵を夏休み前までに設置する。
手取川ダム	12	4	②	転落防止柵のボルトが緩んだり抜け落ちていたり、紛失したりしている事から、ボルトを締め付け直す。	ボルトの締め直しを実施済み。	
			③	進入禁止箇所に進入禁止の表示が無いことから、進入禁止看板を設置する。	積雪のため通行止め看板を取り外していたが、雪が溶けたことから、立ち入り禁止看板を再設置した。	
			⑦	進入禁止箇所に進入禁止の表示が無いことから、進入禁止看板を設置する。	積雪のため通行止め看板を取り外していたが、雪が溶けたことから、立ち入り禁止看板を再設置した。	
			⑫	ハローイン(休憩施設)横の転落防止柵が損傷。	ロープで仮復旧を施した。ただし損傷箇所に一般人が入れないよう柵が施してあるため立ち入ることは出来ない。	
海岸保全施設	4	4	②	大型離岸堤の天端間詰補修及び救命具紛失	間詰補修及び救命具補充(間詰補修については、完了。)	
			③	①前浜に高低差あり。 ②階段ブロックの中詰材消失	①ラウンディングの実施 ②階段ブロックの中詰材復旧 (①、②とも完了。)	
			④	手摺りのぐらつき	手摺り接合部の補修実施(完了。)	
※ 砂防設備	4	0		異常なし		

※砂防設備における必要点検箇所数は7箇所であるが、積雪のため、現地確認ができない3箇所(④⑤⑦)は雪融け後、点検を行う予定。今回、点検可能な4箇所を点検。

措置前

措置後

手取川

看板周辺の除草が必要



手取川ダム

進入禁止箇所に進入禁止看板を設置



海岸保全施設
前浜に高低差あり。

